

インフルエンザの流行状況について

2025年第4週（1月20日～1月26日）の発生動向調査において、熊本市内の定点医療機関からのインフルエンザ報告数は263件（1定点医療機関当たり10.52）です。今週も減少傾向にありますが、引き続き感染予防に努めましょう。

手洗い・うがい等の基本的な感染対策により、感染を予防しましょう



主な症状

38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られます。

予防対策

- ① 流行前のワクチン接種

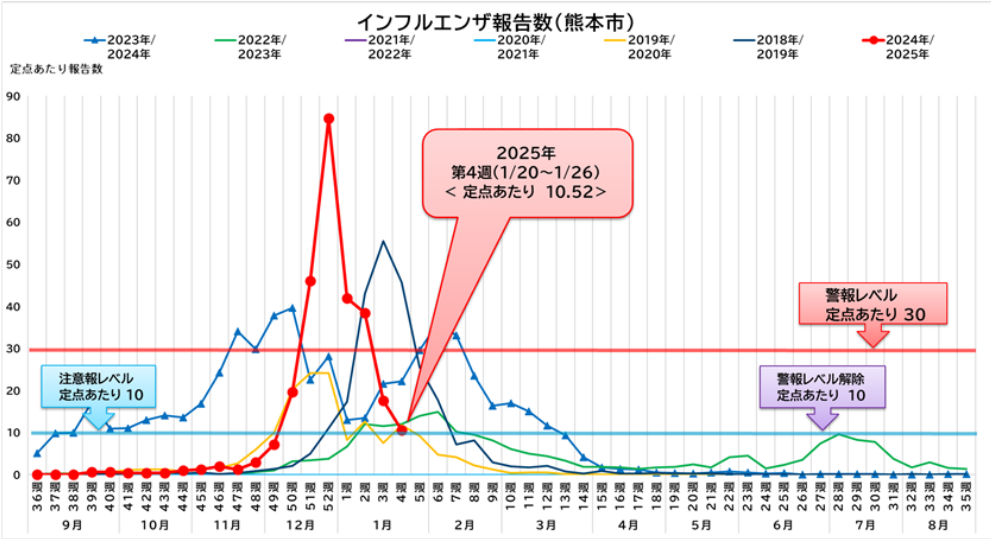
② 外出後の手洗い等

③ 適度な湿度（50～60％）の保持

④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取

⑤ 人混み等の混雑した場所への外出を控える

⑥ 室内ではこまめに換気をする
-



定点種別	疾患名	状況	3週(1/13～1/19)		4週(1/20～1/26)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
C O V I D - 1 9	インフルエンザ	○	439	17.56	263	10.52
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)		110	4.40	112	4.48
小 児 科	RSウイルス感染症		13	0.81	4	0.25
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	8	0.50	6	0.38
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	34	2.13	55	3.44
	感染性胃腸炎	—	71	4.44	107	6.69
	水痘(みずぼうそう)	—	2	0.13	6	0.38
	手足口病	—	3	0.19	3	0.19
	伝染性紅斑(りんご病)	—	5	0.31	9	0.56
	突発性発しん		7	0.44	3	0.19
	ヘルパンギーナ	—	0	0.00	0	0.00
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	2	0.13	1	0.06
眼 科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	10	2.00	7	1.40
基 幹	細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎		6	1.20	2	0.40
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。
○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし